



経済成長にともない国力が増大した中国は、グローバルなパワーバランスの変化を牽引し、国際社会では「パクス・シニカ」の到来が議論されるまでになっています。しかし中国の対外政策は「頂層設計」とよばれるように、習近平個人や党中央による集権化の下で展開されており、国際社会がそれを理解することを極めて困難にしています。

そこで日本国際フォーラム（JFIR）は、中国の対外行動を理解するための分析枠組みを構築し、日本がとるべき総合的な外交戦略の指針を探るべく、令和2年度より加茂具樹・当フォーラム上席研究員（慶應義塾大学総合政策学部長）主査のもと、幅広い分野の日本の中国研究者を糾合して、研究プロジェクト「変わりゆく国際秩序における日本の外交戦略—中国の対外行動分析枠組みの構築を踏まえて—」（<https://www.jfir.or.jp/studygroup/sg3/>）を組織し調査・研究を続けてまいりました。この度、その3年度にわたる成果を広く世の中に発表すべく、3月13日（月）に下記要領にてJFIR公開シンポジウム「中国の対外行動を突き動かしているダイナミクスを読む-権威主義体制、個人集権、官僚組織-」をオンラインおよび対面にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

本シンポジウムでは、前半では「ばらばらな権威主義」、「台湾への優遇策をめぐる地方政府の関心」、「中国の極地政策」等をテーマに報告やコメントを受け、後半では「中国の対外行動を突き動かしているダイナミクスを読む」をテーマに、研究プロジェクトのメンバーによるパネルディスカッションを行います。

記

1. 日時：2023年3月13日（月）13時から16時30分まで（Zoom開室は12時50分から）

2. 開催形式：オンライン形式（Zoomウェビナー）および対面の同時開催

「Zoomウェビナー」とは、各自のパソコンやスマートフォンから簡単にご参加いただけるオンライン会議システムです。会合までにメールにて、Zoom参加URL、パスワード等の詳細を送信いたします。

3. 会場：国際文化会館「講堂」（住所：東京都港区六本木5-11-16）

（地図：<https://www.i-house.or.jp/access.html>）

感染症対策のため、入館者数を40名に制限しております（申し込み順）

4. プログラム：

13:00-13:10 開会挨拶 渡辺 まゆ JFIR 理事長

13:10-13:50 報 告 加茂 具樹 JFIR 上席研究員／慶應義塾大学総合政策学部長・教授

林 載桓 青山学院大学国際政治経済学部教授

下野 寿子 北九州市立大学外国語学部教授

Vida Macikenaite 国際大学国際関係学研究科講師 (Assistant Professor)

13:50-14:00 コメント 高原 明生 東京大学大学院法学研究科教授

14:00-14:30 質 疑

14:30-14:45 休 憩

14:45-16:15 パネルディスカッション「中国の対外行動を突き動かしているダイナミクスを読む」
ファシリテーター

加茂 具樹 JFIR 上席研究員／慶應義塾大学総合政策学部長・教授

登壇者

飯田 将史 防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室長

井上 一郎 関西学院大学総合政策学部教授

林 載桓 青山学院大学国際政治経済学部教授

江口 伸吾 南山大学外国語学部教授

大澤 武司 福岡大学人文学部教授

下野 寿子 北九州市立大学外国語学部教授

諏訪 一幸 静岡県立大学国際関係学部教授

高原 明生 東京大学大学院法学研究科教授

Vida Macikenaite 国際大学国際関係学研究科講師 (Assistant Professor)

新田 順一 慶應義塾大学講師

山崎 周 東洋大学国際学部講師

渡辺 直土 熊本大学文学部准教授

16:15-16:30 総 括 加茂 具樹 JFIR 上席研究員／慶應義塾大学総合政策学部長・教授

5. 参加費：無料

6. 申込方法：下記「申し込みフォーム」より、必要事項をご記入の上、事務局宛にご応募ください。

参加ご希望の方はこちらからお申込みください

< 本対話に関する連絡先 >

日本国際フォーラム事務局（港区赤坂 2-17-12-1301 [TEL:03-3584-2190](tel:03-3584-2190)）
